



ロータリー：  
変化をもたらす

## 宇都宮ロータリークラブ会報

RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」  
宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」  
第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」  
～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～  
2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英  
第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟  
例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12  
事務所 宇都宮市江野町1-12 橋木実業ビル2階 TEL 028-666-0555  
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2017)平成29年11月28日 No. 3223回 2017～2018年度(第19回会報)  
会員数104名 出席人数 68名 出席率69.4% MU会員近藤隆亮会員2回(第46回ロータリー研究会) 前回修正率66.3%

### ビジター紹介(親睦活動委員会 金子副委員長)

みなさんこんにちは。親睦活動委員会です。  
本日当例会場にご来場の方をご紹介させていただきます。  
今度入会をされます、本日は体験ということで出席をされております。  
山本サンタさんです。  
以上ご紹介でした。ありがとうございました。

それではごゆっくりご歓談ください。

会員増強委員会 永井委員長



みなさんこんにちは。  
会員増強委員会の委員長を仰せつかっております永井と申します。  
貴重な時間をありがとうございます。  
委員会からのお知らせです。  
先週、みなさまのボックスの方にパンフレットを入れさせてい

たきました。

宇都宮ロータリークラブの紹介をさせていただくリーフレットです。

こちらをみなさんのお手元にお持ちいただいて、ぜひ今年度、会員増強ということで、純増多数ということで、私も任を仰せつかっておりますので、みなさま、ご紹介のご協力よろしくお願いたします。

地区ごとでは、2550地区ということで、一昨日の日曜日も会員増強のセミナーが開催されました。

今年度は本当に重点項目として、会員増強を地区として上げていくという中で、宇都宮ロータリークラブに期待をされている部分が本当に大きくございます。

皆様のご協力をいただきたいと思います。

パンフレットの方は、たくさん用意してございますので、私の方にお申し付けいただければ、いくらでもお渡しできるような状況、状態にしておきますので、ぜひご協力の方よろしくお願いたします。

親睦活動委員会 金子副委員長より



みなさんこんにちは。

最近まじめに出ています、親睦活動委員会・副委員長を仰せつかっております金子でございます。

今日は12月19日に開催されますクリスマス例会のご案内でございます。

この場所で、東武ホテルグランデの方で、クリスマス例会・夜の部ですが、開催されます。

みなさんにインビテーションカードを発送してございます。

12月1日がとりあえずの締切となってまして、お早めに出席の・参加のご返事を頂戴したいと思います。

今日いらっしゃる方、顔を拝見しながら、お一人お一人確認はしているつもりでございますが、確認した後も机のところに出欠のハガキがまだあるという場合は、ぜひ投函していただいて、よろしく願いいたします。

同伴者OKでございます。奥様に準ずる方という方でございますので、ご判断いただいております。

ありがとうございます。

#### ニコニコボックス委員会 小宮副委員長



みなさんこんにちは。

ニコニコボックス委員会の小宮でございます。

本日のご奉仕をご報告させていただきます。

結婚記念祝いということで、藤井昌一会員、同じく稲野秀孝会員、同じく佐藤行正会員。

奥様誕生祝いでは、矢嶋昭司会員。

会出席祝いでは、佐山良一会員。

その他でございますが、藤井昌一会員からは、奥様が藍綬褒章を受賞いたしましたということです。

同じく先週の卓話者の森本敬三様よりご奉仕をいただいております。

続きまして、町田卓大会員からは、「第55回栃木技能五輪全国大会も無事終了し、当社より銀メダル1名、敢闘賞1名受賞しました」ということで、「応援ありがとうございます」。

続きまして、同じくその他でございます。

関雅樹会員から、「先日の親睦ゴルフコンペにおきまして入賞させていただきました。当日はチーム戦などあり、大変楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございます」ということでございます。

続きましてその他でございます。

関口快流会員から、「11月15日にフェニックストーナメントプロアマ戦でトキマツ選手と回り、チームで準優勝いたしました」と、いただいております。

同じくその他でございます。関口快太郎会員から11月15日に宮崎フェニックスプロアマ大会で優勝することができました。\*\*\*プレイヤーは\*\*\*\*\*です」という風にいただいております。以上、ご報告いたします。

## 例会プログラムの紹介

松本委員長

みなさまこんにちは本日の例会ですが、会員卓話でございます。

社会奉仕委員長の明賀一博様に演題「第5回宇都宮気仙沼さんま祭り」と題してお話をいただきます。

ご紹介の必要ないかもしれませんが、一応、ご本人からプロフィールいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

ご出身は東京都葛飾区です。千葉銀行、その通りです。

昭和48年生まれで、都立両国高校から立教大学へ進まれ、平成7年に千葉銀行に入られて、平成18年に有限会社マルニの代表取締役社長に就任されました。

平成19年から宇都宮ロータリークラブに入られて、今季は社会奉仕委員会の委員長をお勤めになられております。

それでは明賀様、よろしく願いいたします。



皆さんこんにちは。

本年度、社会奉仕委員長を仰せつかっております明賀でございます。

今日ですね、先日ですね、11月4日に行われました「気仙沼さんま祭り」ということで、準備段階から多くの皆様にご協力いただきました。まず御礼を申し上げたいと思います。

ありがとうございました。

そしてですね、30分お時間をいただいておりますので、準備段階からどのような形で今回のさんま祭りをですね、無事に成功することができたかということですね、ちょっとお話をさせていただきたいと思います。

それで早速なんですけど、最後の5分の所ですね、金山社長の方からですね、是非お時間を頂きたいということでしたので、25分にちょっと短縮してですね、私の話をさせていただきたいと思いますので、どうぞお付き合いください。

よろしく願いいたします。

プロジェクターの方を使ってですね、お話をさせていただきたいと思いますので、後方の壁の上をご覧になってください。お願いいたします。

えー、ちょっとゴメンなさい。ちょっと電源切れちゃってまして、若干立ち上がるのに時間がかかるということなんですけど、時間が限られておりますので、先にお話を進めていきたいと思います。

早速なんですけども、今回のさんま祭りを説明する前にですね、今までどのような形でですね、さんま祭りが行われてきたと、その辺の歴史からちょっとお話ししたいと思います。

やはりあのきっかけはですね、2011年3月の東日本大震災ということで、この後直後は私、当時SAEだったんですけども、会長が荻山会長でしてね、計画停電等ありまして、例会どうするのか色々困った記憶がありますけれども。

すぐ当クラブでも何ができるっていうわけでもなかったんですが、クラブの会員である大矢さんと善林さんと飯村さんの方で、色々各地に炊き出しに行かれてたんですね、当時ですね。

そういった経緯がございまして、翌12年、青木会長の時なんですけど、たまたまこの年が宇都宮ロータリークラブ60周年の年でございました。

善林さんはですね、炊き出しの実績を買われて、法人会の社会貢献活動委員長という形で（個々の説明がないと話が繋がらないので説明させていただきますけれども）ロータリーとしては、翌12年2月に、当時社会奉仕委員長・岡崎さんだったんですけども、記念事業として2トントラックを2台、気仙沼の漁協に寄贈しております。

西小学校の生徒たちの応援メッセージを添えて、贈っております。

翌年なんですけれども、この年に第1回のさんま祭りをやられているんですが、これは実はロータリー事業ではなくて、先ほど申し上げました法人会の社会貢献活動の一環としてさんま祭りをやられております。

この6千匹については、善林さんが単身気仙沼に乗り込んでですね、6千匹もらわれてきたという風に聞いております。

ちょっと色んな、私もですね、臨時報告書とかにしないと、会報のやつとかを調べてやってるんで、若干、これ違うよという風に言われるかもしれませんが、そこはですね、好意と友情に免じてお許しいただければと思うんです。

33:02

翌年2013年11月なんですけれども、このとき善林さんがロータリーの社会奉仕委員長にもなります。なので、法人会とロータリーの双方の社会奉仕委員長を担当することになってですね、この年から初めてロータリーと法人会主催でさんま祭りをやる形になりました。

ちなみに二日間で義援金については、当時は朝日ヶ丘学園の方に寄付しております。翌年14年11月は大塚年度で、柴田社会奉仕委員長で4千匹を二日間に渡って焼きました。

この年は気仙沼南ロータリークラブを通して、義援金を\*\*?の本を買ってくれという形で贈ったりとかですね、きずな学園・中央公園のすぐ隣にあるんですけど、こちらの方でクリスマスパーティーに使わせていただきました。

2015年11月は第4回目ということで、清原年度でその時の社会奉仕委員長・大矢さんということで、このときは1日の開催ということだったんですが、義援金を使ってですね、気仙沼に餃子を持って行ってですね、現地で餃子と豚汁を作ってふるまったという形でございました。

去年は一旦お休みをいたしまして、今年、印出井会長の方からぜひさんま祭りを復活させてもらいたいということでですね、私に社会奉仕委員長ということをお願いされたものですから、なんとか東日本大震災からの歴史ある行事でございまして、いい形で次に繋げればということでお引き受けをさせていただきました。

そして今回のさんま祭りなんですけれども、事業の内容なんですけど、主催はこの通り宇都宮ロータリークラブと法人会。ロータリークラブの中には、宇都宮女子校であったり、文星芸大付属高校、文星女子なでしこインターアクトクラブ、こちらは北ロータリークラブなんですけれども、2年前も参加させていただいて、このさんま事業に毎回、ご協力いただいております。

後援という形なんですけれども宇都宮商工会議所なんですけれども、皆さんご存知の通り、関口快流会員がですね、会議所の会頭を務めていらっしゃいます。

後援のお話をさせていただいたところ、お名前の通り、快くお引き受けいただきました。

それからご協力という形で、オリオン通りの曲師町商業協同組合なんですけれども、こちら組合長が長谷川会員でございまして、今回場所がふれあい広場という形で釜川沿いだったものですから、煙等の問題もありまして、商店街の方々にも色々ご挨拶をしなければいけなかったんですけれども、その辺はすべて長谷川さんをお願いして、非常に助かりました。

指導という形で、市役所。場所を借りるので、使っております。

保健所は事前に相談に行ったところ、色々ご指導いただきました。

それから消防本部ですね。

最後、中央警察という形でですね、色々行政も絡めて、今回の開催に至っております。

会場はここに書いてある通り、釜川沿い、ふれあい広場というところでございます。後でちょっと地図出しますのです。

それからもう一つ概要で、今回は焼きさんま2千匹。それから広東風フカヒレ\*\*、1300食。サントリー・ザ・プレミアムモルツ、600本、ソフトドリンク200本という形で、参加者はロータリアン、インターアクター、法人会...後でご説明しますが、野村證券さん、関電工さんの社員も含めて、だいたい100名という形で事業を行いました。

これに至るまでなんですけれども、いろいろな問題もございまして、まず一つが皆さんご存知の通り、さんまの不漁が挙げられます。

左の新聞、9月4日の日経新聞なんですけれども、小ぶりで高値という記事でございます。

それから真ん中9月20日の新聞なんですけれど、女川漁港に初めて9月20日に水揚げされた、と。

例年よりも一ヶ月近く遅いという形で、やっぱりさんまが獲れないという記事でございます。

一番右が11月14日、さんまもう終わっちゃってるんですけれども、色々水揚げを計算した結果、50年ぶりの不漁だったということでございます。

原因としてはですね、中国や台湾による先取り…公海上での先取りであるとかですね、後の8月の29日と9月15日、北朝鮮からミサイルが発射されてですね、北太平洋のさんまが獲れるところに落ちたということが原因じゃないかという風に熊本さんが言っておりました。

その\*\*もありまして、正直さんまできるかどうかも分からなくて、イワシにしようかホタテにしようか、そういった話が出ていたのが、ちょうどこのころであります。

そんな中、気仙沼を訪問いたします。

左の方からこちらの方に行っていました。

気仙沼プラザホテルということで、気仙沼南ロータリークラブのメンバーの方です。

右の方がその女将の田村さん、熊本さんは森三中に似てるという風に言ってるんですけど、それは人それぞれの捉え方の違いで、私はノーコメントと。

12日の時点で電話で話をしていたんですが、なかなかやっぱりさんまが獲れなくて、11月4日どうなるか分かりませんという風に言われてたんです。

そんな中でちょっとこう不安を持ちながら行ったんですけど、なんとか気仙沼で冷凍ならなんとかなるよという形で、2千匹取り付けてまいりました。

そのとき気仙沼はやはりフカヒレも有名なので、ダメ元でフカヒレスープなんかないの？みたいな話をしたところ、意外と快く「いいですよ。どうぞ、使ってください」というお話をいただきまして、レトルトのスープなんですけれども、市場に流通している価格よりもかなり破格の値段で仕入れることができ、今回のスープの販売につながりました。

車で行ったんですけど、熊本さんと帰りの中で、スープとさんまやるんで、「じゃあ、ビールもやっちゃおうか」ということで、帰りの車の中からサントリーモルティングの金山さんにお電話いたしまして、なんとかなりそうだったもんですから、ビールも急浮上して話を進めさせていただきました。

これが準備段階なんですけれども、インターアクトクラブ、11月の15日に文星芸大付属高校に集まっていたいて、ポスターを作っているところでもあります。

ここにいる多くの方がご経験あるかと思うんですけど、これは網作りですね、これもインターアクトの方にお手伝いをいただきまして、このような形で網を作っていました。

これが看板ですね。

真ん中にプレモルの看板を、これは金山さんからお預かりさせていただいたものなんですけれども、ご覧の通り、宇都宮気仙沼さんま祭り、これはパソコンのA4の紙を全部貼り合わせて、A3かな...こういった形で全て手作りです。

左側のポスターは、ぜひ気仙沼の宣伝もしたいということのを彼らに申し上げたところ、このような形でポスターを送っていただいた。これは板に貼り付けただけのものなんですけれども、当日、使わせていただきました。

続きまして、こちらさんま焼きのテストなんですけれども、これ実は去年までと炭が違うんですね。

今までは木炭とか使ってたんですけど、安いやつ使ってたんですが、右の写真見ると、棒状の炭に見えると思うんですけど、これはおが炭と言っておがくずを固めて作った炭でして、これは持ちが良くて火力も強いということで、普通に買うと普通の木炭より高いんですけど、トータルで考えるとこちらの方が費用対効果はかなりいいということと、これはインターネットで仕入れたんですけど、これもまた熊本さんなんですけど、粘り強くインターネット相手に交渉していただいて、通常の半額で大量購入させていただきまして、次年度分も確保してあります。

それから、これが気仙沼さんま祭り実行員会というのがどうやら出来ていたらしくて、さんまの焼き方のマニュアルであります。

多分来年もこのまま使えるんじゃないかと思うんですけど、結構細かく描いてあります。

さんまを美味しく作る方法ということで、下の方には塩の振り方が 20cm 程度上からとかその辺もかなり細かく指定してあります。

右の方は焼き方なんですけれども、これも表裏で 10 分ほど中火で焼くのがいいとかですね、表 5 分で裏は 4 分、さらに 2 分ほど経ってから出すと美味しいですよという形で、こういったマニュアルを作っておりますので、次年度以降、使えればと思います。

ちなみにこういう風なやり方をすると、さんまの油臭さがかなりなくなって、前のページのさんまの試し焼きでもなんとなく磯の香りがするような感じがして、非常によかったと思います。

だいぶ前置きが長いんですが、場所ですが、ふれあい広場とポケットパーキング、それから中央小学校の北側の駐車場、そのお隣のユウショウパーキングっていうところが、今回のメイン会場なんですけれども、こちらみなさんご存じのウドケンイチさんのものでございまして、こちらお電話で快くお貸していただきました。

会場当日になります。

会場準備ですね。こちら左側がさんまのメイン会場ですね。

それから、右がスープとビールを販売した、中央小・北側スペース。

これは黒いのが、やじさんで白いのが金子さんじゃないかと思います。

左の方の一番右のスーツの方が長谷川さん、その隣が印出井会長という形で。

8 時から始めてるんですけれども、みなさん早くから来ていただいております。

同じ日に餃子祭りをしてるんですけれども、餃子祭りは確か五光さんがやってるんで、餃子の五光りに対して、さんまのという形で早めに（笑声で聞き取れず）いただければと思います。

ご覧の通り、蛍光色のところ、法人会の皆さんですね。

左側がインターアクトさんの女子高生と男子高生と。

白いのを着ているのがロータリアンという形ですね。

結構な人数…トータルで先ほど申し上げましたように 100 名近くの方が集まりました。

右側が特にさんまの舞台のところなんですけれども、右の白いのを着ているのが小池支店長、左で腕組みをして引き込んでいるのが、福村さんですね。

赤い部隊がここにいるんですけれども、これ野村証券さんの赤い服ですね、野村証券の方がみんなこの日のために赤い服を用意して臨んでいただきました。

ちなみに右の写真で拡声器を持っている方が、今回、食品衛生管理者という形でお手伝いいただいた国松さんであります。

それからさんまの下準備。

これはさんまを洗ってるところなんですけれども、これが実は一番大変だったんじゃないかと思って、お願いしといて頭がさがるというところなんですけれども。

赤の野村と、グレーが関電工の社員の方なんですけれども。

11 月 4 日ですから、今から比べるとまだ暖かい頃なんですけど、何せさんまが氷づめになって入ってるので、これを 2 千匹洗うとけっこう冷たいんですね。

やっていたいたんですが、今考えるとすごい大変だったのかなと支店長いらっしゃるか分からないんですけども、お礼を申し上げたいと思います。

右側の方が洗ったさんまに塩を振って準備をしているところであります。

続きまして、炭おこしですね。

これはもう手慣れたもので、熊本さん11月4日なのに半袖でがんばっていただいております。

右側の方もインターアクトの生徒は変わるんですけども、先生方はそのままの方も多いので、けっこう主体的に動いていただいて、我々の方でこうしてくださいああしてくださいと言わないでも、5基のコンロを調理することができました。

いよいよさんまが焼き始めます。

先ほどのマニュアルに従って焼いていただきまして、この頃はだいぶみなさん手慣れたもので、やっただきまして、やっぱり気持ち油が臭くないかなあという印象を持ちました。

で、さんま配布なんですけれども、11時から配り始めたんですが、実際、釜川の反対側までけっこう並んでまして、意外とお昼どきじゃなくて、スタート前から並ぶというのは、意外と初めてだったのかなあなんていう風に思っております。

右側で一番右の蛍光色が三井さんですね、ちょっと分かりづらいですけども。

ロータリークラブのメンバーでありながら、法人会の社会貢献副委員長という立場で、双方の立場で参加していただいております。

左側の右の白いこちらを向いているのが池田先生ですね。

池田先生、やはり学生向けのお話とか学生の心をつかむのがやっぱりお上手でして、さんまの方を仕切っていただいたのですが、手際よく、みなさんができるように、またご自身でもさんまを運んだりとか、匂いを浴びながら、一所懸命やっただきました。

右の方は、法人会の女性部の皆様ですね。

下準備の段階から、意外と注文がありまして、焼き方がどうだとか、切れ目がどうだとかいう話があったんですが、先ほどのマニュアルを見せたところ、「あ、これならいいね」と感心されて、この日は気持ちよくさんまの方のお仕事をしていただきました。

これがスープとビールとジュースということで、ちょっと時間もないので急ぎますね。

左がスープで、右がビールという形で、今回も善林さんにはビールの方の担当をしていただきまして、厳しい目で準備をしていただいているところなんですけれども。

この写真には写ってないんですけども、善林さんともう一人山中さんという大同生命の女性の方にも一緒にやっただきまして、後で知ったんですが、よくよく聞いたら宇都宮商業の先輩・後輩ということで、「じゃあ、ちょうどいいじゃん」ということで、後でそういった話をみなさんとしておりました。

次年度のために、ここで一言だけちょっと申しおきしておきますと、左のスープのところ、見えないんですけど、ガスボンベがありまして、消防の方からは、転倒防止ということで何かにくくりつけろということでかなりしつこくやられたんですけども、結果的にくくりつけるものがなくて、ブロックで壁側に押さえつけたということ



で、何とかお許しいただいたということなので、来年もスープ等やる場合は、この辺注意していただければと思います。

続いて、販売してる状態ですね。

左が販売前、左が販売後ということで。

右の黒い「あ、取られちゃった」という顔をしているのが加藤さんですね。

右手にスープ、左手にビールを持っておりますけれども、実は加藤さん朝早くから準備段階から来ていただきまして、ロータリーで扱ってるビールの記念すべき第1号のお客さまになっていただきまして、朝早くは来られたんですが、三杯のビールを飲んだら、いつの間にか居なくなっていたということでございます。

それから、募金活動です。

左の方がインターアクトの女子高生が一所懸命、自前で募金箱を作っていました。

今まではさんまを配った後に募金箱を用意してたんですけども、それだと集まらないということで、さんまを配る直前に募金箱を女子高生にやってもらいました。

なかなかちょっと照れもあったそうで、右側の写真、白いのを着てるのが斎藤幸一さんです。

募金やるぞーやるぞーやるぞー！ということで、いっぱい募金をしていただきました。

その他ということで、左が斎藤高蔵会員ですね、清水さんと仲良く中央小学校のプールの上に上がる階段なのかな？そこから上から覗き込んでいただいています。

それから、右の方が法人会の社会貢献委員会のメンバーですね。

西ロータリークラブにもなってるんですか、横松さんと、右が田中さんですね。

翌日の下野新聞、担当・藤井さんという方に来ていただいて、このような形で「復興支援さんまで絶好調」という形で、朝刊に載せていただきました。

150人並んだっていう風に、前日電話がかかってきて、「150人でいいんですよ？」って言われたんですけど、今思うと、300人ぐらいにしとけばよかったかな～、ちょっとだけ後悔しております。

このあとアレなんで、ちょっと駆け足で…。

今回、職業奉仕という形で多くの、もちろんロータリアンの方には来ていただいたっていうご協力もあるんですが、会社としてですね

これっていう方にご協力いただきました。

野村証券さん、関電工さん、栃銀さんは社員の方にも参加していただきました。

Docomoさん、東日本電信電話さんにも人を一人派遣していただいて、映像を流していただきました。

東京ガスさんにはガスを無償で出してもらって、宇都宮文化センターさんには、最後ゴミの掃除を取りまとめていただきまして、最後に雨が降った等もあって、終わる時間が読めなかったんですけども、上手に柔軟に対応していただきました。

ダイコウ商事さんは、最後掃除を一気に引き受けていただきました。

サントリーホールディングスさんや横倉本店さんはプレモル、ビールの方で色々とお世話になりまして、大山商事さんはお皿ですね、さんまのお皿やスープのカップ、こちらの方でご協力いただきました。

それから岡崎さんは最後の白いジャンパーをクリーニングにですね。

トクシンさんは、皆さんには一応今回ビールがあったものですから、あまり大々的にはお話ししなかったんですが、宇都宮本店の駐車場を提供していただきました。

アキモト？さんは、前日にお新香持ってきてって言ったたら、持ってきていただきました、お昼ご飯の際に皆さんちょっとだけつまめたかな。これ、販売するわけにいかないって\*\*委員長に言われてたので、みなさんで食べました。

コアミ計測器はこれ、ちょっと疑問なんですけれど、会場に水がなかったんですね。水道はあったんですけど、地面から出る水道だったものですから、それでさんまを洗うのもちょっとアレなので、近くに会社があるものですから、ポリタンク3つ4つ持ってって、コアミさんの新鮮な水道水を多く提供していただきました。

それから今後の予定なんですけれども、おかげさまで募金が208,924円、ビール等の売り上げが122,250円集まりました。

募金の使い道について、今後このような形で考えております。

きずな学園でのクリスマスパーティーという形で、日時が29年12月16日土曜日のだいたい10時から14時で予定しておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

私の方ではちょっと駆け足になっちゃいますが、宇都宮ロータリークラブ、歴史と伝統があるクラブでございまして、2011年からの進化がこの事業の歴史と伝統がございまして。

そういった意味で、今まで先輩方が築き上げてきたこの事業を、いい形で次の社会奉仕委員長にバトンタッチしたいと、そういう一念でやって参りましたので、ぜひ次年度も社会奉仕委員長、どなたがやられるか分かりませんが、がんばっていただいて、この事業をより良いものにしていただければと思います。

ちょっと最後、慌ただしくなってしまうかもしれませんが、私の卓話はこれで終了にさせていただきます。

どうもご静聴ありがとうございました。

このあと、ぜひ金山さんの方にバトンタッチしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

みなさん、サントリーホールディングスの金山と申します。

先程ご紹介いただいたような経緯で私金山にお声をかけていただいて、大変嬉しく思いました。

そして宇都宮ロータリークラブさんに、あのさんま祭りのチャンスをいただきまして、図らずもプロモーションのチャンスをいただけたということで、皆様方に一言、御礼を申し上げたいと思います。

ありがとうございました。

せっかくいただいたチャンスでございまして、最近私がやっておりますことをご紹介させていただきたいと、お時間をいただきました。

私もこの宇都宮に赴任しまして今5年目なんですけど、今離れていまして、いつまた首を切られてもおかしくない、そういう立場でございまして、栃木に7年間住まわせていただいたことで、恩返しをなんとかできないかなという風に、日頃思っております。

ということで、私ともう一人、実は私と同じようにこの会社に出向して、栃木に家を造って住んでしまっている奴がいるんですけれども、少人数で勝手に栃木に転勤プロジェクトというので、ここに書いてありますようなことを簡単にやっております。

会社は家族とは全然関係がないんです。

ないんですが、会社の関係部署とは連携をとってやっております。

そういうことなので、勝手にやっています。

例えばこういうことです。

プレモルを作る時に、私どもで作っております麦芽が使われております。

そこに写真がございましてけれども、根っこが生えてるんですね。

これは麦芽を出荷する前に取っちゃうんですけど、それは牛の餌になります。

この麦芽の根っこを食べた牛を、栃木和牛サンコ？と名付けまして、サントリーが展開するレストランの中で栃木和牛として使っているとか、あるいは、栃木県といえ  
ば、やっぱりとちおとめ。

それから梨。

梨の生産量はそんなに多くはないかもしれませんが、ご覧のようなチュウハイ  
ですね、こういう商品を梓の森工場で作っているとか。

地元とは密接に便宜をとって事業を展開しております。

もう一つは、「こと」連携ということで、今年初めてやってみたんなんです、どうなるか  
ちょっと分からなかったんですけれども、サントリーのバレーボールチームの中、何  
人かに来てもらって、中学生以下の子ども達にバレーボールを体験してもらう、そう  
いったイベント。

あるいは、企業連携として、宇都宮には有名のパンの加工機械メーカーさんがありま  
す。

そういった企業と私どもが取引のある麦芽のヨーロッパの会社とこういうところをう  
まくつなげるとか。

色んな栃木県が元気になるといいなあという活動を勝手に展開しております。

そんな中でサンゼンゴロ？という活動をちょっと紹介させていただきます。

会社設立が1961年12月4日、今年55周年になりました。

たくさん歴史だけは長い会社でございまして。

みなさんご存知かどうか分かりませんが、右側の写真にございましてように、ビール用  
二条大麦の生産量は栃木県が日本一でございまして。

ここからできる麦芽は、ビールはもちろんのこと、右の写真の真ん中にあります水飴  
とか、あるいはパンなどにも使われております。

最近ではサントリーだけではなくて、クラフトビールさんにも私どもから出荷をしてお  
ります。

栃木県のクラフトビールさんは、たいてい私どもの麦芽を使っておられます。

地元の麦芽ですので、喜んで使っていただいているという風に伺っております。

それから右下に蕎麦がありますけれども、蕎麦とは普段は特に何も関係がありませんが、私、実は研究開発畑出身でございますので、麦芽というのは発芽をしておりますので、発芽をすると色んな栄養素が高まってくると。

そんなことで、蕎麦も発芽させると何か美味しいんじゃないかな？という風に、これも勝手に考えて研究をしている最中でございます。

ここに設立当時の写真がございますけど、左下の写真でメガネをかけているのが私どもの初代社長の佐治敬三さんでございます。

サントリーが昭和38年にビール事業を再開するに先立つ2年前に私どもの会社が作られております。

その時の情熱が伝わってくるようであります。

ビール系飲料のシェアの推移なんですけれども、例えば1985年のスーパードライの発売ですね。

もうちょっとでうちがAさんを追い抜く段階だったのに、ここで大ヒット商品が出て、ご覧のように離されてしまった、と。

最近、プレミアムモルツ、皆様方のおかげでなんとかがんばっております、ここをなんとか伸ばしていきたいなという風に想っております。

そんな中で、お礼を言うチャンスではありますけれども、さらにもっとお願いしたいと思います。厚かましいんですが。

ぜひ、お歳暮のシーズンでございます。

どうせビールを贈られるのなら、プレミアムモルツを。

ビールをお考えでない方でもプレミアムモルツを。

ぜひよろしく願いいたします。

それからソフトドリンク。

先だってこの卓話で櫻木という女性がお時間いただきましたけれども、こっちの方も最近ちょっと面白い段階、ステージに入っております。

左のグラフをご覧くださいますと、コカコーラさんがやっぱり一番でございます。

これ、日本全体ですね。

私どもが22%。もうちょいなんです。

もうちょいということで、もう盛んにがんばっております。

右側の方を見ると、年ごとの自販機設置台数の推移が出ておりますけれども、ここが全体の業績に關与しているのは業界ではよく知られたことでございます。

先だつての櫻木は、この部隊に所属しているものでございます。

一部の方には、電話代がいくらかかろうと、入社3年目の若者ですので、なんとか話聞いてやってくださいという風にお願いをしております。

そう言うと、自販機の\*\*\*?なんか一体何年になるか分からないねと言われながら、話を聞いていただくように御快諾をいただいております。

もうちょっとでございます。

栃木についてはですね、やっぱり一番はコカさんなんですけれども、聞くところによると2番はダイドーさんだろうということでございます。

なんとか栃木でも皆様方の健康に、あるいは色んなイベントでお役に立つようにしたいと思っておりますので、宣伝となってまいりますけれども、よろしく願いいたします。

以上でございます。

## 今日の食事



- 真鯛のポアレ
- ミネストローネ
- サラダ
- パン

会報委員 小林健二委員  
写 真 加藤雅敏委員